

強い心と身体の育て方！



雨にもマケズ 風にもマケズ

例年になく早い梅雨入りから約1か月。しかし、晴れ間が覗く日には、雨に洗われた脊振嶺が、紫に輝く季節でもあります。

この梅雨時は、室内で読書をする姿が増える時期。私事で恐縮ですが、宮沢賢治の世界が大好きで、未だに憧れています。宮沢賢治といえば、「雨にもマケズ、風にもマケズ、夏の暑さにも…」が有名ですが、雨にもマケズ登校班で歩く姿に、その言葉が重なります。

◎雨風で、歩きにくいだろうなあ…

◎服が濡れ、気持ち悪いだろうなあ…etc.

まあしかし、そこでいろいろな事を学べます。特に「我慢強さや対応力は別格かなあ」と思いながらその姿に眼を細めています。えっ、我慢強さは分かるけど、対応力って何？と思われた方も多いと思います。実はこんな話を聞いたんです。雨に濡れた靴下で授業を受けるのは辛いので、自分で靴下を準備して学校へ。なるほど、雨に濡れ、気持ち悪さを体験した者ならではの準備。しかも、自分の力で。正しく、本物の対応力と言えるでしょう。せっかく自然が用意してくれた、体と心を鍛えるチャンス。みすみす逃しては…。この積み重ねが大きな違いとして現れるのは、中学生の頃でしょうか？高校生の頃でしょうか？それとも社会人になってからでしょうか？

これから約一月半続く長雨。この季節を自然からもらったチャンスと捉え、強い心と身体を育てられればいいですね。勿論、警報急の大雨の時や特別の事情がある場合は別ですよ(*^o^*)。



プールに歓声こだまします！

子ども時代の夏の楽しみ！それは、何といても水泳の時間ではないのでしょうか。今年もCORONA 感染予防を徹底し、更衣室の換気等を万全にして実施します。また、水泳（低学年は水遊び）の時間は、自らの命と向き合う時間でもあります。クリークが多い本校校区。万が一のために、命を守る術を、先生、そして友達と一緒に学ぶ時間にして欲しいと思います。勿論、2021 夏の思い出づくりのためにも！

掲示物で育てる “絆と感性”



【その1】

学年掲示板には、学年ならではのテーマで、子どもたちの想いが紹介されています。また、縦割り班のコーナーなど、全校枠でのコーナーも。参観時や用事で学校を訪れたときなど、遠慮無く観てもらえれば、幸いです。

【その2】

今年度より、自己有用感の育成をめざし、“白鳥運動”に取り組んでいます。その究極の姿は、友達同士での認め合い。職員室前の白鳥カード、少しずつ増えています。

【その3】

本校では、昨年度に引き続き、表現力の向上に努めています。そこには、夏の俳句集が♡ほんの一部ですが紹介しましょう。

- ◎ せんおうき 顔を近づけ アイウエオ
- ◎ 線香花火 もう少し あっ おちた
- ◎ かたつむり 梅雨が来たよと お知らせだ
- ◎ いちごがり 真っ赤な肌は 一凶ぼれ
- ◎ いちごがり 真っ白な花が キュートだね

